

地域振興事業(丘の公園)あり方検討委員会の提言を踏まえた  
今後の取り組み方針について

企業局

1 今後のあり方

丘の公園が地域振興の中核施設としての機能を維持するため、今後も指定管理者制度を継続することとし、健全経営を確保するための取り組みを進めていく。

2 今後の取り組み方針

提言の項目	今後の取り組み方針
施設の規模と内容の見直し	ゴルフコース3コースを2コースに縮小するとともに、廃止したコースは、地域振興や新たな顧客獲得等を念頭に、指定管理者に提案を求めながら、無料開放施設として整備する。
地域振興事業の収益的収支の黒字の継続	収益確保のため、納入金の確保に加え、ネーミングライツ導入による新たな財源確保に努める。また、コスト削減のため、指定管理者からの提案を活用するなどして効率的な管理運営を行う。
納入金の確保	収益的収支黒字を確保する中で、施設・設備の老朽化、経営が厳しい状況が続いていること、借地料の減少見込など勘案し、指定管理者募集に当たっては適切な納入金額を検討する。
新たな集客策の検討	指定管理者からの提案も活用しながら、例えば、他の県立施設や近隣民間施設と連携した利用券や優待券、北杜市の施策事業との連携事業の企画などに取り組む。
ネーミングライツの導入	H31年4月の次期指定管理期間開始に合わせ、ネーミングライツを導入することとし、手続を進める。
施設の維持・更新	調査結果を踏まえ、収益的収支黒字を確保する中で、今後10年間で計画的に修繕を実施していく。
長期借入金の取扱い等	H28年度末残高59億円の長期借入金のうち、建設資金分33億円を出資金に振り替えて資本とすることとし、H30年度当初予算案に計上する。また、残る運転資金分26億円については、償還計画を見直し、償還期間を短縮する。